

《受験についての注意事項等》

1. 試験前日までの注意事項

- 試験前日までに、試験会場への道順や所要時間等を確認しておいてください。なお、試験室への立ち入りはできません。
- 試験会場についての問い合わせは、学外会場についても、すべて入学課までお願いします。学外会場へは直接問い合わせをしないようにしてください。

2. 試験当日の注意事項

- 「受験票」は、必ず出願サイトからダウンロード・印刷し、持参してください。試験当日は常に「受験票」を携行する必要があります。
- 試験会場もしくは試験室の入口で「受験票」の提示を求めます。なお、受験者以外の立ち入りはできません。
- 万一、「受験票」を紛失または忘れた場合は、入試実施本部（各試験場本部）へ早めに行き、「受験許可証」の交付を受けてください。
- 万一に備えて受験に際しては、受験者ご自身の健康保険証のコピーを持参してください。
- 天理大学では受験者全員を対象にした傷害保険に加入しています。試験当日怪我等をされた場合には、その傷害保険が適応されます。なお、医療費が傷害保険の適用額を超える場合は、自己負担となります。
- 受験者は、試験開始時刻の15分前までに、指定された試験室に入室し、受験番号を確認のうえ着席してください。試験室は、試験前日から掲示等によって案内します。なお、大学院入学選抜臨床人間学研究科＜秋期＞の場合、第1次合格者にのみ、同日午後5時より面接を予定しております。
- 試験会場の開場は、本学会場については試験開始時刻の1時間前から、学外会場については試験開始時刻の40分前からとなります。
- 一般選抜試験において、受験しない教科・科目の試験時間中は、試験室には入室できません。学外会場には、受験者や付添者等の控室を用意していません。
- 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内に限り、受験を認めます。
- 大学食堂は利用できません。昼食は各自で用意してください。
- 自動車、バイク等での試験会場構内への乗り入れを禁止します。
- 試験会場および試験室において、他の受験者に迷惑となるような行為を禁止します。
- 疾病・事故その他の事由により受験ができなかった場合の追試験は行っていません。
- 不明な点等は、本大学係員に尋ねてください。

3. 試験時間中の注意事項

- 試験時間中、机の上に置けるものは、「受験票」のほかに「黒鉛筆」「消しゴム」「鉛筆削り（電動式を除く）」「時計」「眼鏡」です。なお、大学院入学選抜宗教文化研究科＜一般選抜＞「総

合科目Ⅰ（英語）・＜社会人選抜＞「英語」の時間のみ「英和辞書（紙媒体）」の持ち込みが可能です。これ以外の所持品を置くことはできません。

- 時計は時刻表示機能だけのものとし、計算機能や通信機能等がついているもの（携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等）や、それらの機能の有無が判別しづらいものの使用は認めません。
- 「そろばん」「電卓」「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）」「コンパス」「下敷き」等の補助具は使用できません。
- 携帯電話、スマートフォン等は、試験室に入る前にアラーム等の設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- 「耳せん」は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- 試験室内で、コート類を着用しても差し支えありませんが、英文字や地図等がプリントされている上着等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- 風邪等の理由で「ハンカチ」や「ティッシュペーパー」の使用を希望する者は、試験監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。
- 試験終了時刻までは退室を認めません。試験時間中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。
- 試験終了の指示があった際は、ただちに解答をやめてください。この指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以後の受験はできません。また、当日の受験を無効とします。
- 試験室においては、すべて試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室してもらうことがあります。

4. 一般選抜（前期）＜2教科型・3教科型＞について、科目間で著しい得点差が生じた場合は、得点調整を行うこともあります。

5. その他

＜受験特別措置＞

- 受験時に特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、就学後のことも含めて事前に面談をさせていただきますので、各試験区分の出願開始日1か月前までに入学課へ連絡してください。なお、本学会場での受験に限ります。
- 出願後、不慮の事故もしくは疾病等で受験時に特別な配慮が必要となった場合は、速やかに入学課へ連絡してください。

＜受験宿泊案内＞

本大学では受験のための宿泊施設の斡旋は行っていません。各自で直接ホテル等に申し込むか、最寄りの旅行代理店を通じて申し込んでください。